



University of Kelaniya - Sri Lanka

Centre for Distance and Continuing Education

Bachelor of Arts (General) Degree Second Examination (External) - 2011

December 2012 / January 2013

Faculty of Humanities

Japanese – JAPA – E2025

Comprehension, Composition and Translation

Answer all questions

No. of questions : 04

Time : Three hours

[1] 次の文章を読んで、後の質問に答えなさい。

私たちの生活に無くてはならない火は、どのようにして発明されたのでしょうか。今から何万年も前の人々は、火を使うことを知りませんでした。

それで、火山が火をふいたり、かみなりが落ちて木が燃えたりするのを見て、ただおどろいたり、おそれたり、不思議がったりしていました。

ある時、大風で、深い山の木と木がはげしくすれ合ったために、火が出て、山火事になりました。森のけものはその火を(A)_____どんどんにげだしました。それを見ていた人々は、火を使って、けものを追いはらうことを考えつきました。

それまで人々は夜になると、けものをおそれて、真っ暗なほら穴の中に(B)_____いました。ためしに、山火事の焼けあとから残り火を持ってきて、ほら穴の入口に置いてみました。すると、けものが近くに来ないだけでなく、中も明るくて、たいへん便利なことがわかりました。

しかし、火が消えると、人々は火をさがしに行かなくてはなりません。また、火をたやさないようにするためいつも火の番をしていなければなりません。それは、なかなか大変なことです。

そこで、人々は自分たちで火を作る方法を考えました。そして、大風で木がすれ合って火が出たのを思い出して、木のえだを強くすり合わせてみました。すると、思ったとおり火が出ることがわかりました。

このようにして、人々は平たい木切れの上で、細い木の棒をきりのようにもんで、

火を出すことを発明しました。火を出す棒には、かたいひのきを使いました。この木は、木の中では油が多くて、火を出しやすいからです。

山火事から火を作る棒を考えついた人々は、その後しばらくして、石と石とを打ち合わせて火を出すことを考えました。

ある時、けものを(C)_____ 石を投げつけました。その石のねらいが(D)_____、かたい岩にぶつかると、ぱっと火花を出しました。これを見た人々は石と石とを打ち合わせて火を出す火打ち石を発明しました。

①昔の人々は火を使って、けものを追いかけることどうやって分かるようになりましたか。

②「それは、なかなか大変なことです。」と書いてありますが何が大変なことでしたか。

③火を出す棒に、かたいひのきを使ったのはなぜですか。

④「火打ち石」の発明を説明しなさい。

⑤火の発明の進歩を簡単にまとめなさい。

1.
2.
3.
4.

⑥(A)、(B)、(C)、(D)に入る最も適当な言葉はどれですか。正しい順番の答えを一つ下の(i)、(ii)、(iii)、(iv)の中から選びなさい。

(i)(A) かくれて (B) おそれて (C) はずれて (D) ねらって

(ii)(A) おそれて (B) かくれて (C) ねらって (D) はずれて

(iii)(A) おそれて (B) はずれて (C) ねらって (D) かくれて

(iv)(A) かくれて (B) ねらって (C) はずれて (D) おそれて

⑦本文の「かせんぶ」下線部をシンハラ語・英語に訳しなさい。

[2] 次の文章をシンハラ語・英語に訳しなさい。

2004年の調査によると、日本人の平均寿命は、男性が 78.64 歳で、女性が 85.59 歳だ

そうです。現在、日本は、男女共に世界一の長寿国として知られています。今の年寄りが長生きである理由はいろいろありますが、この人たちが長い間、続けてきた食生活とも深い関係があると言われています。つまり、長寿のお年寄りは、魚や野菜や豆腐を中心とした、日本の伝統的な食事を小さいころから続けてきました。

けれども、日本人の食生活は、外国の影響を受けて、この 30 年ぐらいの間に大きく変わりました。東京などの大都市では、洋食や中華料理の店だけでなく、インド、タイ、ロシアなどのレストランも増えて、世界のいろいろな味が楽しめるようになりました。24 時間営業のレストランやコンビニエンスストアも多くなり、忙しい人たちにとっても、大変便利です。

その一方で、家庭の味や伝統の味を忘れてしまう人や、簡単な料理も作れない若い人たちが増えました。また、これまで大人の病気だと思われていた生活習慣病になってしまう子どもが増えてきて、問題になっています。今の子どもたちの食事は肉や油を使った料理が多くなり、栄養のバランスがよくありません。お菓子やジュースもたくさんあります。インスタント食品やファーストフードを利用する家庭も多くなりましたが、こういうものは塩分や糖分が多いだけでなく、いろいろな添加物も含まれていて、健康にいいとは言えません。その上、今の子どもたちはあまり外で遊ばなくなつたために、運動不足になって、生活習慣病になつしまうこともあるのです。

このように、日本人の食生活は大変豊かで便利になった反面、そういう変化の中で、いろいろな悪い影響も出始めています。これから毎日の食生活について見直していく必要があるかもしれません。

長寿 — longevity උරසායුම

塩分 — salt content පෙෂ පොශය

糖分 — sugar content සැහි පොශය

[3] 次の文章を日本語に訳しなさい。

ජපන් හාජාව තිරගතා, කතකතා හා කන්ඩී යන හේඛි 3න් සැදී ඇති අතර මූලික වී ඇත්තේ වින අක්ෂර වේ. කන්ඩී අක්ෂර 50,000ක් පමණ ඇතැයි කියනු ලැබේ. කෙසේ වූතත් බොහෝ කන්ඩී අක්ෂර එදිනදා ජ්‍යෙෂ්ඨයේ දී අත්‍යාච්‍යා නොවේ. ජපානයේ අධ්‍යාපන අමාත්‍යාංශය මහින් නිතර හාටිභා වන කන්ඩී අක්ෂර 1945ක් JōYō කන්ඩී ලෙස නීරණය කර ඇත.

කන්ඩී අක්ෂරයක් මහින් අර්ථයක් ප්‍රකාශ කරයි. එහි අර්ථය කන්ඩීය හැඩිය බැඳුවෙන් වැටහේ. එක් කන්ඩී අක්ෂරයකට එක් අර්ථයක් ඇත. කන්ඩී වල “人” යන්න “මිනිසා” ගේ හැඩිය වන අතර එහි අර්ථය “මිනිසා” වේ. නමුත් අර්ථ දෙකක් හගවන අවස්ථාන් ඇත. “月” යන කන්ඩී අක්ෂරය “හඳු” යන හැඩිය වන අතර එහි අර්ථය “හඳු” වේ. “月” යන්න මාසය යන අර්ථයන් ද හාටිත කරයි. එම නිසා “月” යන්නට අර්ථ දෙකකි. අනෙක් අර්ථය මුළු අර්ථයන් විශේෂනය විය.

Japanese is written in a combination of three scripts: Hiragana ,Katakana and kanji, originated from Chinese characters. They were introduced to Japan nearly 2,000 years ago.

It is said that some 50,000 kanji exist. However, many kanji are not necessarily used in daily life. The Japanese Ministry of Education designated 1,945 characters as “Jōyō Kanji”, which are the most frequently used characters.

Kanji signify meaning .You can Understand the meaning if you look at the outline of a kanji. Each kanji has a meaning. The Kanji 人 is the outline of a person and it means “a Person ”.However, a Kanji may have two meanings. The Kanji 月 is the outline of the moon and it means “the Moon”. 月 also means “Month (30 days). ”So 月 has two meanings. Another meaning branches off from the original meaning.

[4] 次の三つのテーマの中から一つ選び、作文を書きなさい。

- ① 私の偉人 「偉人=hero」
- ② スリランカの伝統文化
- ③ 日本語を学んでいる学生として先生に期待すること